

学校経営概要

三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。



育てたい子ども像

Ⅰ、「みんななかよく、思いやりのある子」

生命を大切にし、自他を思いやる心を持ち、協力して生活を向上させようとする態度や心情を育てる。

Ⅱ、「すすんで学び、よく考え、行動する子」

自分の課題を見つけ、よく考え、正しく判断し、創造的に解決しようとする、主体的な態度を育てる。

Ⅲ、「心も体もたくましく、最後までやりとげる子」

自立や自製の心、強い意志と実践力を持ち、自らすすんで健康な体力づくりに努める能力や態度を育てる。



学校経営に関する基本方針

- ①児童が自他の尊重と人のつながりを実感できる学校生活
- ②児童が主体的、対話的で深い学びができる学習指導
- ③児童の主体性を育てる健康・安全教育と安心安全な教育環境
- ④全職員による全児童への指導・支援
- ⑤学校と家庭・地域・社会が連携して共に児童を育てる教育活動



本年度の重点

・自信、責任感を育てる教育活動

「言われたことをできる」「指示通りに動ける」ではなく、自分が行動することの意味や影響を考え行動できる児童を育てるために、教師の姿勢を見直し、指導の改善を図る。

・学びに向かう姿勢の育成

学習活動は、児童が学びの魅力を感じることや学びへの意欲を持ったうえで成り立つことを教員が意識した指導を行う。

・意欲につながる評価

教師の評価が、児童の自信や、次への意欲に大きく関わることを自覚し、日常の評価の見直しを行う。